

35億円は、道の駅より 老朽校舎対策に

河合 克平議員



道の駅の整備は進め、教育環境は連携
市長

問 道の駅周辺整備の設計委託、用地取得、整備工事、その他の費用および管理運営方法は。

答 設計委託費等は約2億3千万円、都市公園の用地取得費は約3億6千万円、道の駅再整備、都市公園整備に関する工費は約29億3千万円、その他の費用は約6千万円となり、総合計は約35億8千万円になる。

問 民間企業のノウハウを活用し、一体的かつ効率的に管理運営していく。

答 35億円という非常に多額な費用をかけ、道の駅の施設をリニューアルするが、先に小学校のリニューアルを行うべきだ。一旦この道の駅の整備計画について立ち止まる考えは。

答 今回の整備は、国や県等の補助金を活用し、

計画については、手順を踏み、様々な意見を聴いて進め、必要な予算についても、議会で審議し、認められて進めている。

学校の現状は、トイレ改修やエアコン等必要な部分は、国・県の有利な財源確保をし、整備している。子どもたちの教育環境を見据え、教育部局と連携し進める。

問 適正規模等の検証委員会は、中学校を優先するとしているが、統合される中学校の老朽化対策は行わないのか。

答 適正規模、適正配置と併せて検討協議していくので、この場でそういった答弁はできない。



▲道の駅周辺整備計画の費用

老朽校舎の整備 計画の進捗は

問 教育長の考えは。
答 今は本当に最低限の安全は確保され、危険なところは逐一報告をして、即刻対応をしている。計画が策定されれば速やかにお願いする。

問 学校老朽化対策についての取り組みは。

答 小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会を設置し併せて協議、検討を進める。